

<参考資料>東北クロッシェ村・編み手の声

## 頑張れるのも、笑顔でいられるのも、応援してくれる人達が沢山いるおかげ

<宮古市／ピンクさん>

震災直後の6月、避難所にいた時に手仕事をしませんかと声をかけてもらい、悩んでいる時に知人に勧められやることにしました。余震があるなか1時間以上かかる宮古まで来てくださり、ていねいに教えてくれて「編みたい!!」と思い、かわいいハートブローチにもいやされました。避難所から仮設住宅に入ると同時に仕事をする事になり、お金が入ったら少しずつ手芸の道具を増やそうと思い頑張りました。編むことが好きだったから、毎日が嬉しい、楽しい、そしてお金が入ってくるで、笑顔でいられました。

仲間もどんどん増えて、2人から始まり多い時は12人もいて、皆で励まし合いながら頑張ってきました。後に、昼に仕事をするようになったり、遠くの公営住宅に入ったりと、少し仲間が減りましたが現在も頑張っています。

2014年に東北クロッシェ村という会社となり、私達の会社ができたことが本当に嬉しかったです。仲間と仕事があることに感謝し、ますます頑張らないといけないと思い、よく集まり教えたり教えられたりしながら編んでいます。仲間は震災後に知り合った人達で、皆良い人達で毎日が楽しいです。その仲間達と長く仕事ができることを願っています。私達が頑張れるのも、笑顔でいられるのも、応援してくれる人達が沢山いるおかげだと思い、感謝しながら仕事をしています。ありがとうございます!!

## 誰かに喜んでもらえる仕事をしていることが私の支え

<陸前高田市／メリーさん>

3月11日を忘れることはありません。

元々手芸が好きでいた私は、EAST LOOPのハートブローチ作りに誘われました。当時、仲間が沢山いましたが、元の職場に戻ったり、引っ越したりとやめた方もあります。

私は楽しく編ませていただいて、今も続けております。買った方からはげましのコメントや自分のブローチを買って喜んでいられることを見るとありがたい気持ちになり、続けてきて良かった、私の編んだハートを大切にしてくれていてうれしかったです。

東北クロッシェ村へと独立して編み物のお仕事をさせて頂いています。忙しい時期になるとのんびりしてられないくらい大変ですが、誰かが使ってくれていること、手芸店に飾られていることを思うと作りがいもあるし、仕事ができるって良いことだなあーと感じている毎日です。東北クロッシェ村の仲間も増えて、皆さんと集まって楽しく世間話をしながら笑ったり泣いたりして今日までできました。誰かに喜んでもらえる仕事をしていることが今までの私の支えとなってきました。

街もだいぶ変わりました。復興と共に東北クロッシェ村の仕事も進んでいます。

これからも沢山笑顔で編んでいきます。